

## 豊かな自然を活かした地域づくり

## 鳥取市立明治地区公民館



軽トラマルシェ



森林ウオーク in 安蔵

## 公民館の沿革・年表

- ・昭和31年 明治地区公民館開設
- ・平成 5年 現在地に新築移転
- ・平成22年 『明日をひらく明治の郷づくり協議会』発足
- ・令和元年 **公民館と郷づくり協議会を一体化し、新たに『明治郷づくり協議会』として、組織改革を行う。**（鳥取市まちづくり一括交付金制度を取り入れる。）
- ・令和 3年 優良自治組織として知事表彰受賞

## 特色ある取組

- 軽トラマルシェ（生涯学習コミュニティー部）  
毎月第1火曜日に公民館駐車場で、地元で採れた野菜の販売（地産地消による**地域振興**）を行う。  
**売り手・買い手・児童の参加による住民の交流を図る。**
- 森林ウオーク in 安蔵（自然環境地域活性化部）  
美しい眺望、全山紅葉の中を、住民・市民が健康ウオーク（平成26年から始めて10回目）を行う。

公民館情報		1. 公民館対象人口	1152人	3. 来館者のインターネット接続環境	無線LAN（Wi-Fi等）
		2. 建物設置年月日	平成5年3月	4. 来館者のインターネット接続最大端末数	100台
5. 運営主体	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村教育委員会 <input type="checkbox"/> 指定管理者（ <input type="checkbox"/> 地区まちづくり協議会） <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）				
6. 来館者数	<input checked="" type="checkbox"/> 学級・講座 300人 <input checked="" type="checkbox"/> 貸館、サークル活動 300人 <input checked="" type="checkbox"/> 講演会、展示会等 800人 <input checked="" type="checkbox"/> その他 200人（居場所としての来館等）	合計		1,600人	
7. 職員数	<input type="checkbox"/> 専任 <input type="checkbox"/> 兼任 0人 <input checked="" type="checkbox"/> 非常勤 3人 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア協力者 4人 （職員のうち社会教育主事有資格者の数 0人 職員のうち社会教育士の数 1人）	合計		7人	
8. 予算	<input checked="" type="checkbox"/> 市区町村予算 <input type="checkbox"/> 委託金 <input checked="" type="checkbox"/> 自治組織等予算 <input type="checkbox"/> 寄附等 <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）				
9. 公民館運営審議会	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）				
10. 公民館が実施している、もしくは、関わっている取組・事業の分類	<input checked="" type="checkbox"/> 子育て支援 <input type="checkbox"/> 家庭教育支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの体験活動 <input type="checkbox"/> 子ども食堂 <input type="checkbox"/> 若者のまちづくり参画 <input checked="" type="checkbox"/> 健康づくり <input checked="" type="checkbox"/> 高齢者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 障害者の学び支援 <input checked="" type="checkbox"/> ICTの活用 <input checked="" type="checkbox"/> 防災 <input type="checkbox"/> 地域学校協働活動 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール <input type="checkbox"/> ボランティア養成 <input checked="" type="checkbox"/> 地域資源を活用したまちづくり <input type="checkbox"/> 日本語を母語としない住民の学び支援 <input type="checkbox"/> 自主夜間中学 <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）				
11. 施設の特徴、魅力	<input type="checkbox"/> 複合施設 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 生涯学習センター <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ） <input checked="" type="checkbox"/> 自由記述（鳥のさえずりと初夏・初秋に地域のボランティアと児童が植えた花に一年中包まれている。）				
12. 各種事業等で連携・協働している団体等（団体名記述）	<input checked="" type="checkbox"/> 幼稚園・保育所 <input checked="" type="checkbox"/> 小中学校 <input type="checkbox"/> 高校 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input checked="" type="checkbox"/> 各種団体 <input checked="" type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> 図書館 <input type="checkbox"/> 博物館 <input type="checkbox"/> 青少年教育施設 <input type="checkbox"/> その他 （豊実保育園、明治小学校、世紀小学校、高草中学校、明治郷づくり協議会、明治地区社会福祉協議会、明治地区子ども会、明治地区老人クラブ、明治地区体育会）				

## 鳥取市立明治地区公民館

OPEN 8:30～17:00（平日）

H P <http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/meiji-1/>

TEL 0857-56-0005

SNS



## 1. 取組を進めた要因・背景、地域課題、住民ニーズなど

明治地区は少子高齢化が進み、地域産業である農業が衰退、伝統文化の継承が難しくなり、人々の交流が希薄化してきている。360度山に囲まれ、1,000m級の名山高山を源流とする野坂川の流域に13集落が点在し、古くからの景観がそのまま残る自然豊かな地域である。この豊かさと美しさに地域住民はほとんど気づいていない。

そこで、地域の良さを魅力を知り、活用するだけでなく、広く市民にも知ってもらうことは地域のアイデンティティを高めることになると考え、地域衰退に歯止めをかけ、かつ地域を活性化するため、地域振興と人々の交流を盛んにしていく取組をすることにした。

## 2. 取組内容（力を入れている活動、特徴的な活動、地域課題解決の活動、運営の工夫など）

### 【活動1 軽トラマルシェ】

地元で採れた野菜を地元のお客さんに販売する「地産地消」を振興するため、野菜生産者が採れた野菜や花苗を公民館に運び、軽トラの荷台を露店にし住民に販売する。

#### 工夫した活動

①野菜生産者を集め、出店希望者を募った後、野菜の種類、値段などについて出店者準備会議を開催（市販より安価で、また50円刻みの価格と他の出店者と品物が重なった場合の価格設定について等の協議）②毎月、出店者の募集と開催日の広報（チラシ・地区内放送）③児童による販売体験を設け、生産農家や買い手との交流の場とした。



児童も販売呼びかけに協力

### 【活動2 森林ウオーク in 安蔵】

安蔵地区は山陰海岸ジオパークエリアに含まれ、市民の憩いの場となっている。四季折々に変化する山々の姿は美しさの極みである。明治郷づくり協議会地域活性化部会は、全山紅葉の中、健康増進をねらう『森林ウオーク in 安蔵』を開催している。平成26年から始め、令和5年で10回を数える。

#### 工夫した活動

①多くの人に澄み切った空気と美しい景観を知り味わってもらえるよう、体力に合わせて選べる3km、5km、7kmの3コースを設けている。②ウオーク終了後の楽しみと交流の場として、地元野菜の入った豚汁弁当での会食を開催。また完歩者には、抽選で地元の農産物をプレゼントしている。



森林ウオーク後の豚汁弁当

## 3. 取組による成果や効果

### 【活動1 軽トラマルシェ】

①出店者5～10店、買い物客20名～50名程度。近頃は地区外からの来店者も増えてきて、賑わいをみせている。②ナツメ、グミ、ジュンベリー、ポポー、ムカゴ、コゴミ、ゼンマイなどスーパーの野菜売り場に陳列されていない、こならでは農産物の販売もある。③マルシェの盛況ぶりとともに児童の販売意欲と地域への関心が年々増している。④『久しぶり、元気？』『どうしてつくるだ？』『どうやって料理するだ？』と、月1回のマルシェが地域住民の交流につながっている。



収穫した梅を計量したりポップを描いたりして小学校の梅林の梅を販売する児童

### 【活動2 森林ウオーク in 安蔵】

①参加者は70～100人。歩いた後の秋の高原地で食べる豚汁は絶品！と好評。②行事案内を市報等に広報していることもあり、地区外の参加者が年々増えている。

## 4. 取組の検証・改善を行う仕組み・方法

- ①事業の計画から運営まで住民参画の事業になっている。  
部会→実行委員会→実行→反省会→改善案の実行
- ②部会で事業内容を決定、実行委員会で役割分担、部会で反省を行う。  
PDCAサイクルで実施。10回目を迎えることになった。



軽トラマルシェ準備会

## 5. 公民館として大切にしていること、大切にしている考え

公民館事業は、心豊かな人々の暮らしと地域の活性化に結び付く事業を考えている。

それには、地域の人々の声に耳を傾け、地域課題や要望を明確にし、課題解決に結び付けていく事業を考えることが大切である。また、郷土愛を育むには、子どもたちが幼年時代より地域の事業に参加したり、地域の特色を知ったりすることが大切と考える。



おススメの調理レシピを配付する児童

## 6. これから公民館をどのようにしていきたいか。次の仕掛けやビジョンなど

これまでの事業を展開しつつ、課題やニーズに対応するため、地域の資源や人材を知り、活用した事業（地域の産業に結びついた事業）を考え、地域力の底上げにつなげたい。また、日本遺産【麒麟獅子舞】など地域文化を大切に思い、次世代に継承していくための組織づくりとその活動支援をしていきたい。老若男女問わず地域の誰もが主役になり、笑顔で達成感を味わえる地域づくりに取り組んでいきたい。



地区内の3体の麒麟獅子を一堂に展示